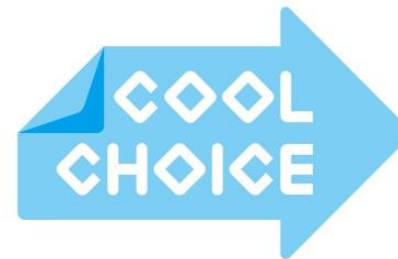


ケーススタディ・ワーキング 共感を集めるためのSDGsストーリーづくり



未来の
ために、
いま選ぼう。

ファシリテーター: EPO中部 原理史

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



国際連合広報センター

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/

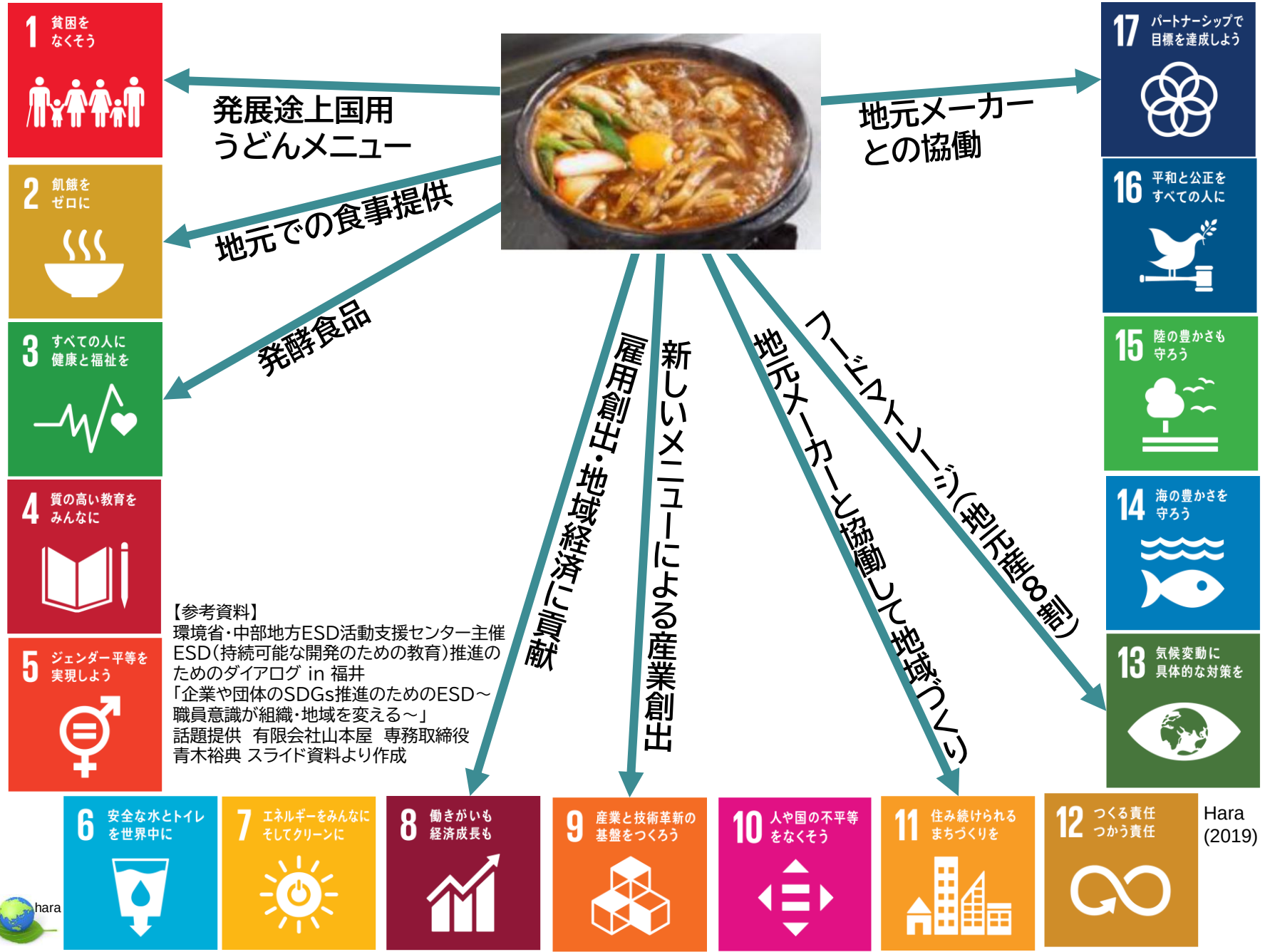


うちの事業、関係あるの？

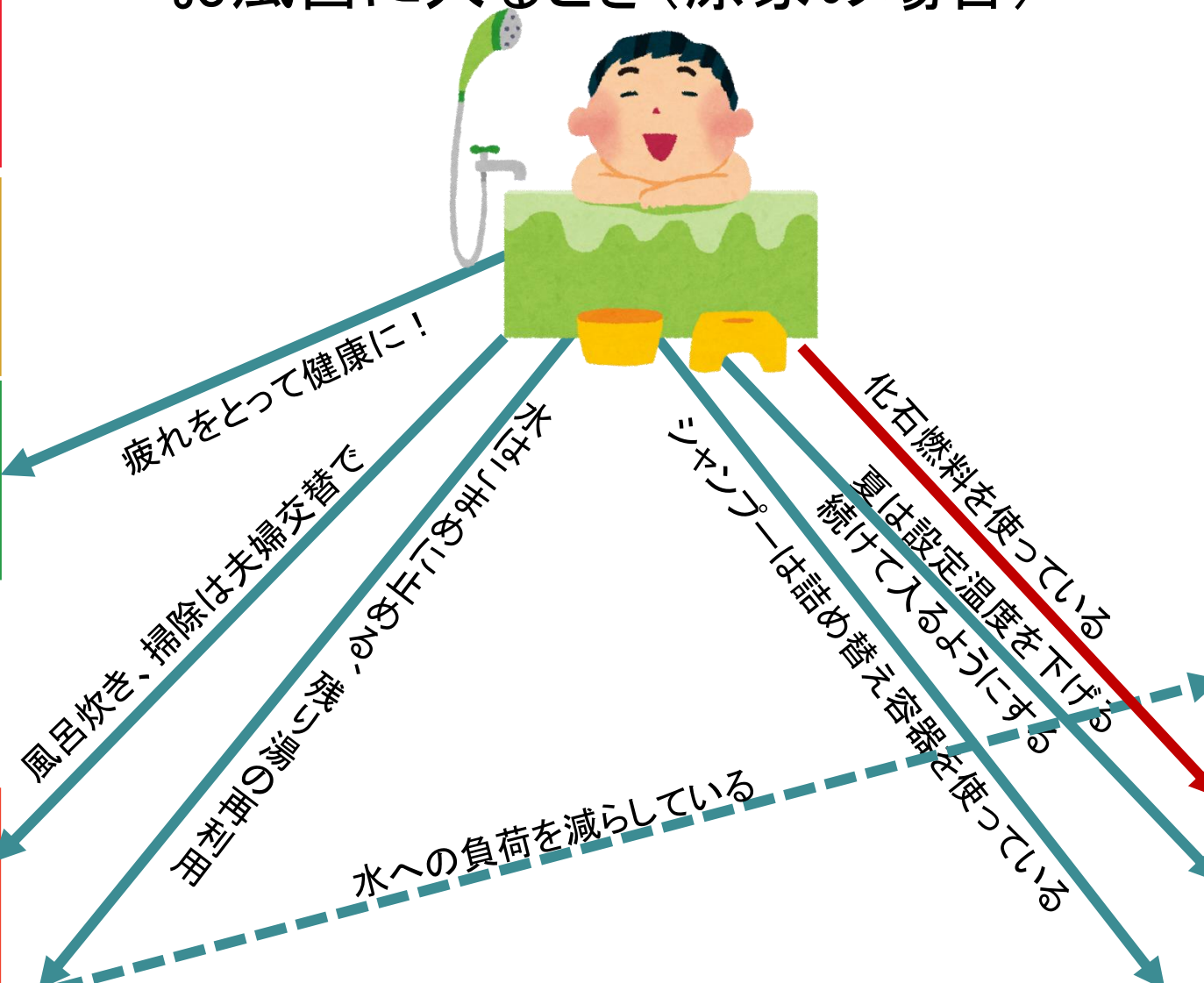
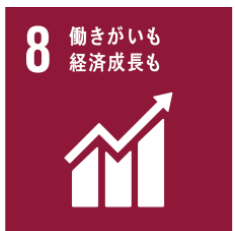


あなたの事業活動に大いに関係あります!!!

うどん屋さんのSDGsの取組



お風呂に入るとき（原家の場合）



前回記入したSDGsチェックリスト

SDGsチェックリスト(基本段階版)

ver.1.20

監修：SDGsツール作成ワーキンググループ(2019年度)

発行：環境省中部地方環境事務所・中部地方ESD活動支援センター

〇社会の一員として、すでに行っていることを、振り返ってみる

すでに行っている取組内容を記入し、貢献しているSDGs目標には〇を、

足引っ張っているSDGs目標には△をつける。

貧困をなくそう

飢餓をゼロに

すべての人に健康と福祉を

質の高い教育をみんなに

ジェンダー平等を実現しよう

安全な水とトイレを世界中に

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

働きがいも経済成長も

産業と技術革新の基盤をつくろう

人や国の不平等をなくそう

住み続けられるまちづくりを

つくる責任つかう責任

気候変動に具体的な対策を

海の豊かさを守ろう

陸の豊かさを守ろう

平和と公正をすべての人に

パートナーシップで目標を達成しよう

SDGs目標との相互関連チェック！

分類と例示

すでに行っている取組内容

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1 1690

2 13690

3 13690

4 13690

5 13690

6 13690

7 13690

8 13690

9 13690

10 13690

11 13690

12 13690

13 13690

14 13690

15 13690

16 13690

17 13690

〇／△の合計

SDGs目標を選んだ理由

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R

6. 施設と設備

環境配慮建築、持続可能性や多様性に配慮した施設や設備

7. 公正な働き方

教育の推進、役割の公平性、多様な関係者の人権の尊重

8. 社会参加と交流

地域での連携、地域活動参加など各種コミュニティへの貢献

9. 安心・安全

地域防災、地域防犯

10. その他の仕事(事業)などを通じた貢献

〇／△の合計

1. 飲食の提供や管理

食堂、キッチン等の運営管理

2. 低・脱炭素エネルギー利用

省エネの実践、再生エネルギー利用

3. 水利用と排水

節水、雨水利用、排水処理の工夫

4. 通勤(通学)、搬送、輸送、配達

公共交通利用、エコカー採用、エコドライブ

5. 調達(購入)と廃棄物処理

効率的調達、グリーン購入、地産地消、3R</

事業や活動のSDGs関連図を作ってみた。

テーマを入れる

活動の内容

関連を矢印などで表現し、
適宜説明を入れる
足を引っ張っていたら
赤い矢印で

後で説明文を入れる



本日のワーキングプログラム

目標：自身の取組とSDGsの関わりについて共感をもって聞いてもらえる物語を考える

●SDGsとのどんな関わりを物語にするかを考える

○自身の取組とSDGsの関わりの確認

○その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える

●共感する物語を考える

○活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える

○誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえるかを考える

○考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる

●物語を発表(3名程度)

SDGsとのどんな関わりを物語にするかを考える

SDGsワーキング用シートを使用⇒



○自身の取組とSDGsの関わりの確認(5分)

(記入していない人は記入、記入してある人はそれを確認)

- ・自分の取組を四角の中に記入する。
- ・U字ワークシートを記入、関連のあるゴールと線を引く。
- ・なぜそのゴールと関連するかを記入する。

○その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える(10分)

- ・ワークシートに考えた説明内容を記入する。
- ・取組内容⇒貢献の理由(なぜそのゴールに貢献するのか)
⇒貢献するゴール

自身の取組とSDGsの関わりの確認

記入していない人は記入、記入してある人はそれを確認

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター提供
SDGs 17 ゴール・ワーキング用シート No. 2

テーマ: X博士の子ども省エネ・SDGs教室

1 貧困をなくそう

2 調和を育む

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

17 平和と公正

16 平和と公正をすべての人に

15 陸の豊かさを保ち増やす

14 海の豊かさを保ち増やす

13 気候変動に具体的な対策を

12 つくって減らす循環する

内容（取組など）

学校や市民イベントで、X博士に扮装して〇×クイズとゲームの省エネ・SDGs教室を実施

子どもに対する教育

子ども達の笑顔

外来種問題啓発

プラスチック汚染問題啓発

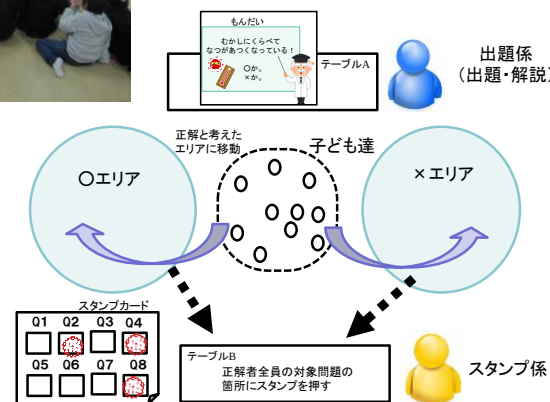
自然保護と環境SDGs教室

省エネ・省CO2教室はUCCOOL CHOICES 省エネ先生

自分の取組を四角の中に記入する。



X博士の〇×クイズ



U字ワークシートを記入、関連のあるゴールと線を引く。

なぜそのゴールと関連するかを記入する。

その中から一つ～三つ選んで説明内容を考える

ワークシートに考えた説明内容を記入する

例



〇取組内容

子供たちに対する温暖化防止を中心として環境教育を実施。地球にやさしい行動を選ぶことの重要性を楽しいクイズやゲームで啓発する。

〇貢献の理由

子どもたちが自分の行動と地球との関わりに気づき、地球にやさしい行動をとるようになるとともに、家族に体験を話すことで考え方が広がることが期待できるから。

〇貢献するゴール

4. 教育、12. 作る責任・使う責任、13. 温暖化対策

共感する物語を考える

物語ワークシートを使用⇒

物語ワークシート(共感する物語を考える)			
SDGs のゴールに貢献すると幸せになる主人公			
幸せになる主人公	立場や置かれている状況	関係するような貢献する SDGs ゴール	
物語を話して誰に共感してもらいたいのか、誰なら共感してもらえそうか			
物語の主人公	物語を誰に話したいか	共感してもらえそうか	共感してもらえかどうか、その理由
		共感する・共感しない	
		共感する・共感しない	
		共感する・共感しない	
		共感する・共感しない	
主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公から見た、SDGs への貢献で幸せになる物語を作ってみる)			
物語を話す対象			
選んだ物語の主人公			
主人公が困っていたこと			
困っていた原因			
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと			
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか			
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか			
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか			

- 活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える(5分)
- 誰に共感してもらいたいのか、誰なら共感してもらえるかを考える(5分)
- 考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる(15分)

活動でSDGsのゴールに貢献すると幸せになる主人公を考える

物語ワークシート(共感する物語を考える)

SDGs のゴールに貢献すると幸せになる主人公			
幸せになる主人公	立場や置かれている状況	関係するような貢献する SDGs ゴール	
あるお母さん	子どもがいつも電気をつけっぱなしにする、食べ物大切にわかってもらえない	4. 教育、12. 作る・使う責任、13. 温暖化対策	
地球	温暖化が進行している	13. 温暖化対策	
北極のシロクマ	温暖化が進行して、生息環境が悪化している	13.温暖化対策、14.海の生態系、15.陸の生態系	
物語を話して誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえそうか			
物語の主人公	物語を誰に話したいか	共感してもらえそうか	共感してもらえるかどうか、その理由
主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公)			
物語を話す対象			
選んだ物語の主人公			
主人公が困っていたこと			
困っていた原因			
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと			
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか			
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか			
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか			

例)ゴール11: 海の生態系の場合

- ・魚が取れなくなって困っている漁師
- ・海岸が汚れて遊び場がなく悲しんでいる地元の子ども
- ・仲間がビニール袋を食べて餓死してしまうのを見たウミガメ
- ・実際に困っている人を(仮名で)登場させてもよい

誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえるかを考える

物語ワークシート(共感する物語を考える)

SDGs のゴールに貢献すると幸せになる主人公			
幸せになる主人公	立場や置かれている状況	関係するような貢献する SDGs ゴール	
あるお母さん	子どもがいつも電気をつけっぱなしにする、食べ物大切さがわかってもらえない	4. 教育、12. 作る・使う責任、13. 温暖化対策	
地球	温暖化が進行している	13. 温暖化対策	
北極のシロクマ	温暖化が進行して、生息環境が悪化している	13. 温暖化対策、14. 海の生態系、15. 陸の生態系	
物語を話して誰に共感してもらいたいか、誰なら共感してもらえそうか			
物語の主人公	物語を誰に話したいか	共感してもらえそうか	共感してもらえるかどうか、その理由
あるお母さん	PTA など子育て関係者	○共感する・共感しない	自分と同じ立場なのでわかりやすい
地球	保育園の先生	共感する・○共感しない	対象が大きすぎるので小さい子にはわからない
北極のシロクマ	保育園の先生	○共感する・共感しない	子どもはシロクマが好きだから積極的に参加するに違いない
		共感する・共感しない	
主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公から見た、SDGs への貢献で幸せになる物語を作ってみる)			
物語を話す対象			
選んだ物語の主人公			
主人公が困っていたこと	・自分が説明したい対象は誰か ・共感してくれそうな人は誰か ・主人公の物語を聞いてくれそうなのは誰か		
困っていた原因			
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと			
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか			
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか			
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか			

考えた主人公から見た、SDGsへの貢献で幸せになる物語を作ってみる

物語ワークシート(共感する物語を考

SDGs のゴールに貢献すると幸せに

幸せになる主人公	立場や
あるお母さん	子どもか
地球	温暖化か
北極のシロクマ	温暖化か

物語を話して誰に共感してもらいた

物語の主人公	物語を話
あるお母さん	PTA など子育て関係者
地球	保育園の先生
北極のシロクマ	保育園の先生

・主人公が困っていたこと

・困っていた原因

・「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと

・「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか

・「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか

・それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか

主人公を選んで共感してもらえそうな物語を作る (主人公から見た、SDGs への貢献で幸せになる物語を作ってみる)

物語を話す対象	PTA など子育て関係者	保育園の先生
選んだ物語の主人公	あるお母さん	北極のシロクマ
主人公が困っていたこと	子どもがいつも電気をつけっぱなしにする、食べ物の大切さがわかってもらえない	北極の氷が早く溶けるので餌を充分にとれない。こぐまを育てるのも大変。
困っていた原因	環境の大切さを子どもにわかりやすく教えてもらう機会がない	人間のせいで地球の温度が変わって、迷惑している。
「その取組」が解決に貢献してくれた(するはずの)こと	環境の大切さを教えてくれる機会があれば、「もったいない」の気持ちが子どもに生まれる	自分たちシロクマが困っていることを、人間の子どもに教えてくれるX博士という人がいる。この人にたくさんのこどもに教えてもらえば人間も少しはまともになるのだろう。
「その取組」の内容、誰がどこでどんな人とどんなことをしているのか	X 博士のクイズゲームのチラシをもらった。子どもが楽しめそうなプログラムなので連れて行った。	X 博士のクイズゲームで人間のこども達が楽しく学び、少しは考えるようになる。
「その取組」の結果どんな変化がおきた(おきる)のか	クイズゲームにすごく楽しく参加して、家に帰ってから「電気はすぐ消さなきゃダメ！」言うようになった。	環境のことを考える人間が増えて、温暖化に歯止めがかかるに違いない。
それによって主人公はどのように幸せになった(なる)のか	お母さんは、子どもが「もったいない」と思うようになったことに大満足。	北極もこれ以上状況が悪化せず、自分たちシロクマも生きていける。

物語を発表、感想(10分)

○ファシリテーター指名により3名発表

○発表者相互の感想

○フロアからの感想

最後に…

- 説明する相手が話を聞いてくれるようにするため、相手の立場で考えることが重要です。
- 主人公を相手側において同じ立場で話を考えてみましょう。
- SDGsへの貢献という内容は、身近な物語にすることにより聞いてもらいやすくなります。
- 試行錯誤しながら、聞いてもらえる物語を作りましょう。

